

平成30年度

高校生のための

熊大    

事業の記録



目 次

1. はじめに		1
2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義		
1)開講一覧		5
2)募集案内		6
3)実施状況		25
4)アンケート		29
3. ワクワク研究室訪問		
1)募集案内		41
2)申込用紙		42
3)実施要領		43
4)実施状況		44
4. 平成30年度高大連携推進関係主要行事一覧		47

1. はじめに

高大連携推進プロジェクトは平成24年度に開始し、7年目の本年度（平成30年度）は、「高校生のための熊大ワクワク連続講義」および「ワクワク研究室訪問」の2つの事業を実施しました。本事業の目的は、高校生の皆様が本学教員による授業や本学学部の研究室訪問を通して、学問や研究に直接触れ、大学進学やその先にある皆さんの夢の実現に役立ててもらふ事にあります。

まず、今年度の「ワクワク連続講義」につきましては、継続して実施しております八代地区、玉名地区でのサテライト講義を実施しました。参加者はそれぞれ293名、256名といずれも多くの方々に参加いただきました。8月には熊本大学黒髪キャンパスにおいて、夏季プログラムを2日間実施し、熊本県内外の高校から申込みいただき、2日間で延べ345名と多くの方々に参加いただきました。また、高校を会場としたワクワク連続講義につきましては、天草高校、水俣高校、人吉高校、鹿本高校、大津高校の5校で開講を計画し、各高校ご協力のもと、4校で延べ324名に参加いただき、実施することができました。ご協力いただいた高校関係者並びにご参加いただいた高校生の皆様にはあらためてお礼申し上げます。なお、この取り組みは、高校から好評をいただいておりますので、来年度以降も実施していきたいと考えています。

「ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）」につきましては、昨年度から実施件数が増加しており、本年度も12件実施され、延べ38名の高校生が訪問されました。訪問後に高校生から提出されたレポートでは、「先生のお話を聞いて、自分の中に新たな考えを生み出すことができた」、「なぜなのかと物事を疑って、本当の意味を理解することの大事さを知った」との感想をいただいております。今後も、県内外から多くの高校生に熊大の研究の現場を体験してもらうべく、引き続き実施していきたいと考えています。

最後に、本事業に参加して本学へ入学してもっと深く勉強したいという意欲のある高校生が増えることを期待しています。

熊大でしかできない研究がたくさんありますし、熊大を卒業して大学や研究所に就職し活躍している学生もたくさんいます。どこの大学に進学するのも大事ですが、実際は何を学んだか、何を身に付けたか、自分の学問や哲学を持っているかがもっと大事です。

2019年3月

教育・学生支援担当副学長 古島 幹雄

2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義

高校生のための 熊大 ワクワク連続講義

平成30年度 開催予定一覧

《受講対象》 高校生および高校教諭等

地域	開催日	授業時間	講師名	専門領域	会場	コマ数
八代	6月16日（土）	〔1限〕 10:30-12:00	今井 伸和	教育学・道徳教育	やつしろ ハーモニーホール	2
		〔2限〕 13:00-14:30	中村 公俊	小児科		
水俣	7月7日（土）	〔1限〕 9:00-10:30	中西 義孝	機械工学・すべり学	県立水俣高等学校	2
		〔2限〕 10:45-12:15	若色 敦子	会社法・消費者法		
天草	7月21日（土）	同時2コマ開催 13:30-15:00	田口 浩継	技術教育・教育工学	県立天草高等学校	2
			高宮 正之	分類学 (特にシダ植物)		
全国 (夏季プログラム)	8月8日(水)	〔1限〕 10:20-11:50	日比 泰造	移植外科・小児外科	本学	3
		〔2限〕 12:50-14:20	安村 明	神経心理学		
		〔3限〕 14:30-16:00	首藤 剛	薬学		
	8月9日(木)	〔1限〕 10:20-11:50	畑 裕之	検査技術学	本学	3
		〔2限〕 12:50-14:20	長谷川 麻子	建築環境・設備		
		〔3限〕 14:30-16:00	田代 浩徳	看護学		
大津	9月1日（土）	同時2コマ開催 13:30-15:00	岡本 洋一	刑法	県立大津高等学校	2
			藤見 俊夫	防災・減災		
人吉	9月29日（土）	同時2コマ開催 13:30-15:00	中迫 由実	住居学	県立人吉高等学校	2
			市川 聡夫	物理学(低温物理学)		
鹿本	10月20日（土）	〔1限〕 9:00-10:30	中内 哲	労働法	県立鹿本高等学校	2
		〔2限〕 10:45-12:15	石塚 洋一	薬学		
荒尾・玉名	10月27日（土）	〔1限〕 9:30-11:00	鈴木 寛之	民俗学	玉名市文化センター	2
		〔2限〕 11:20-12:50	キタイン アルマンド ティビギン	化学工学		

※八代、本学、荒尾・玉名地域については、参加募集は開催1ヶ月前を目処に本学ホームページにて告知・募集を行います。また、該当地区の高等学校へチラシを郵送する予定です。参加希望の方は高等学校の先生を通して申込をお願いします。

【申込・問合せ】
 熊本大学高大連携推進室
 tel:096-342-2712

※申込者多数が定員を上回る場合は高大連携推進室にて調整を行うことがあります

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

＝平成30年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》 やつしろハーモニーホール
《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
6/16(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	「人生の意味」について考えるーフランクルの思想をととしてー 今井 伸和 教育学部 准教授	3階 大会議室
	2限目 (13:00-14:30)	2	才能から病気まで、遺伝する不思議 -トビはタカを生むのか? 中村 公俊 医学部医学科 教授	3階 大会議室

担当の先生方へ

《参加申込》 各学校毎に、所定の様式によりお取りまとめのうえ、**6月6日(水)**までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

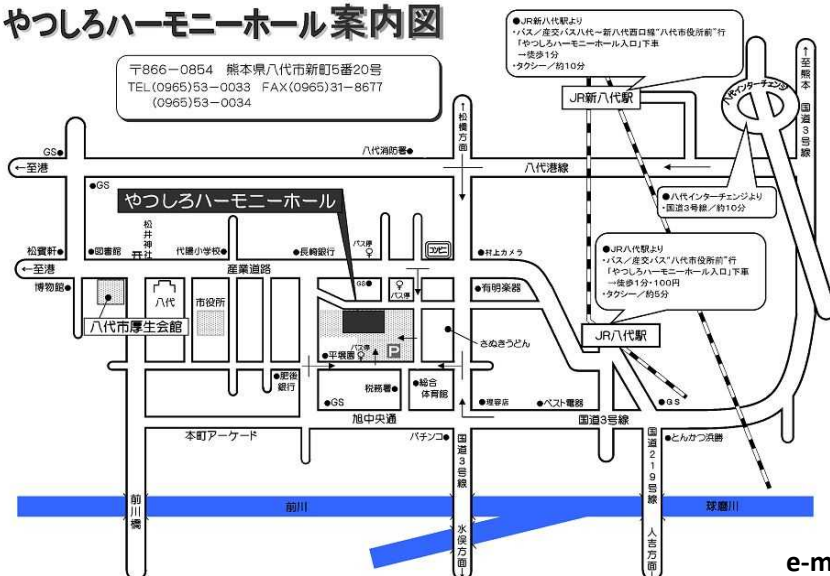
【参加申込書様式】 熊本大学 のウェブページ(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)で



トップページ → 「入試案内」 → 「高大連携」内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」をクリック。
関係ページから、「参加申込書.xls」をダウンロードしてください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**6月8日(金)**までにご連絡します。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

やつしろハーモニーホール案内図



《JR八代駅からバス》

所要時間約5分 150円

“八代駅前”より
【みなバス(右廻り)】
【ゆめバス(左廻り)】
【産交路線バス】
“八代市役所前”行乗車
→「やつしろハーモニーホール入口」
下車 徒歩1分

【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

6月16日(土) 1時限 10:30～12:00

今井 伸和 教育学部 准教授

テーマ：「人生の意味」について考える—フランクルの思想をととして—

内 容： フランクルは強制収容所の体験記『夜と霧』の著者として有名であり、またロゴセラピーと呼ばれる精神療法の創始者という精神医学者としての顔を持ちます。しかしそれだけでなく、彼は「人生の意味」についての思想家でもあり、その思想は現代においても重要な意義を持っています。本講義のねらいは、フランクル思想の紹介を通して、それを足がかりに「人生の意味」の問題について考えることです。

講師紹介： 道德（や倫理）のテーマの一つに「人生の意味」の問題があります。実は私自身この問題に小学生の時から悩んでいました。結局その答えは高校まで見つかることはなかったのです。大学に入り、そこである先生から、フランクルの「人生の意味」についての思想を学びました。それは目から鱗が落ちる経験でした。それが私の転機となり、今の仕事につながっているわけです。

関連教科： 道德、倫理**キーワード：** 人生の意味、強制収容所

2

6月16日(土) 2時限 13:00～14:30

中村 公俊 医学部医学科 教授

テーマ：才能から病気まで、遺伝する不思議 - トビはタカを生むのか？

内 容： カエルの子はカエル。トビがタカを生む。これらの諺（ことわざ）は遺伝という現象をもとにして考えられています。遺伝とは、親が持っている形質が子どもに伝わることです。それでは、遺伝する形質とはどのようなもののでしょうか。アスリートの子どもがオリンピックで活躍することもあるれば、親はあまり勉強ができなかったのに子どもは頑張り屋さんであることも珍しくありません。遺伝の持つ不思議についてわかりやすくお話しします。

講師紹介： 熊本県出身。熊本大学医学部を卒業し、小児科医としての研修をおこない、大学院で医学博士の学位を取得し、カナダのアルバータ大学へ4年間留学した。帰国後は先天代謝異常症や遺伝性疾患などの診療や研究をおこない、厚生労働省研究中村班代表者を務める。趣味はマラソン、合唱。

関連教科： 生物

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 水俣高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《平成30年度サテライトプログラム》

7月7日（土）

開催場所：熊本県立水俣高等学校 2階 大会議室

1限 9:00-10:30	すべらないための“すべり学（Tribology）” 中西 義孝 工学部 教授
2限 10:45-12:15	会社という特殊なヒトと消費者という「弱者」－取引のBoth side now 若色 敦子 大学院法曹養成研究科 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、6月27日（水）までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月7日(土) 1時限 9:00～10:30

中西 義孝 工学部 教授

テーマ： すべらないための“すべり学(Tribology)”

内 容： 摩擦・摩耗・潤滑など“すべり”に関する学問をトライボロジ(Tribology)と呼びます。滑りがコントロールできなければ、我々はうまく日常生活を行うこともできません。地球規模も問題も“すべらぬように”着実に解決していかなければなりません。今回の話題は“すべり”と滑りに関係する二つの接触面の“ふれあい”に関する事柄を具体的な取り組み例をもとに分かりやすく説明していきます。

講師紹介： 工学・機械系の博士ですが、専門が“すべり学”ゆえ、いろんな課題に取り組んでいます。工学系ではロボット・航空機関連の仕事、医学系では医療機器関連の仕事、生物系ではバイオミメティクスという生命体に学んだものづくりなど、研究室の学生さんと一緒に取り組んでいます。企業の方などとのコラボレーションで始まる、皆様にとっても身近な話題も紹介します。

関連教科・キーワード： 物理・化学・数学・英語

2

7月7日(土) 2時限 10:45～12:15

若色 敦子 大学院法曹養成研究科 准教授

テーマ： 会社という特殊なヒトと消費者という「弱者」—取引のBoth side now

内 容： 皆さんがイメージする「会社」つまり社長を頂点とし底辺が新入社員であるピラミッド構造は、実はほとんど会社以外の他人の集合である。会社の本体はその背後にあり、法的タテマエと経済的ホンネとの歪みが要するに不祥事の原因の1つである。それをどうするかが「コーポレート・ガバナンス」の課題であり、だから何なのかそれは、という話は本編です。他方、私法は、半世紀ほど前に、ヒトは皆平等であるという理想論を放棄し、「消費者」という概念を認めた。その典型が「クーリング・オフ」である。それが何のことで何が問題なのか、についても本編でお話します。

講師紹介： 大学時代、偶然から商法のゼミに入り、そのまま会社法の研究を続けた。その修行中、勤めていた法律事務所の仕事をきっかけに消費者法の勉強も始めた。後に就職した大学の事情で「消費生活アドバイザー」の資格も取ったが、活用しないうちに現在の大学に転職した。現在、法科大学院および法学部での講義をメインの仕事とするが、「消費者支援ネットくまもと」等、実務家と組んだ活動もしている。どっちかと言うと法理論を極めるよりジャーナリスティックな部分に興味を持っている。

関連教科・キーワード： 現代社会、政治経済、現代国語

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 天草高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《平成30年度サテライトプログラム》

7月21日（土）

開催場所：熊本県立天草高等学校
視聴覚教室 ・ 学習センター2階

13:30 - 15:00

思考力・判断力の育て方ー森林環境教育を通してー
田口 浩継 教育学部 教授

生物をなぜ・どのように分けるのか。シダ植物を例にして。
高宮 正之 大学院先端科学研究部（理学系） 教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、7月11日（水）までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月21日（土） 13:30-15:00

田口 浩継 教育学部 教授

テーマ：思考力・判断力の育て方ー森林環境教育を通してー

内 容：森林環境教育を題材に、児童生徒の思考力・判断力を育成する教授法について解説します。具体的には、小・中・高等学校の出前授業「木育（もくいく）ー木の不思議・木の魅力ー」の模擬授業を体験しながら、「教え方・伝え方」について考えてもらいます。みなさんに、学ぶことや教えることの楽しさも実感してもらえればと思います。また、大学入試でも求められる思考力・判断力・表現力を、高校時代に鍛える思考法についても紹介します。

講師紹介：天草市河浦町出身。久玉中学校（現牛深東中）と本渡中学校で10年間勤務後、熊本大学大学院に進学し、修了と同時に教育学部に着任。担当はものづくり教育・教育工学で、幼稚園や小学校・生活科のものづくり教育、中学校の技術・家庭科教育などの授業科目を担当。現在、教職大学院や入試担当の副学部長。博士（公共政策学）。

関連教科・キーワード：生物、地歴、公民、環境教育

2

7月21日（土） 13:30-15:00

高宮 正之 大学院先端科学研究部（理学系）教授

テーマ：生物をなぜ・どのように分けるのか。シダ植物を例にして。

内 容：高校生はどこで生物の分類を習うのでしょうか？「生物基礎」には無く、「生物」の最後に学習します。では小学校ではどうでしょうか。どこにどんな生き物が見られるか、から始まり、生き物を分けることが理科の導入だったのです。高校では突然生物名が出てきますが、生物名は確定したものではありません。例えば日本産のメダカは、2012年にミナミメダカとキタノメダカの2種になりました。講義では、植物（特にシダ植物）の分類についてなぜ・どのように生物を分けるのか紹介します。

講師紹介：群馬県出身。大学は農学系に入学したが、純粋科学に興味に移り、大学院からはシダ植物の分類学を専攻した。熊本大学に助手として務め出し、現在教授。大学では進化学や分類学を講義している。環境省の「絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会」委員など、いわゆるレッドデータブックの編纂に関係している。

関連教科・キーワード：生物、分類、系統、進化

熊本大学 高大連携推進プロジェクト

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

《平成30年度夏季プログラム》

8月8日（水）	1	1限 10:20-11:50	日比 泰造
	2	2限 12:50-14:20	安村 明
	3	3限 14:30-16:00	首藤 剛
8月9日（木）	4	1限 10:20-11:50	畑 裕之
	5	2限 12:50-14:20	長谷川 麻子
	6	3限 14:30-16:00	田代 浩徳

開催場所：熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟

受講対象：高校生および高校教諭等



熊本大学のウェブページ
(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)で、
トップページ → 「入試案内」
→ 高大連携 内の「高校生のための
熊大ワクワク連続講義」でも
募集案内がご覧いただけます。

高校の先生方へ：
各学校毎に、所定の様式によりお取り
まとめのうえ、7月25日（水）までに、
ホームページから「参加申込書.xls」を
ダウンロードして高大連携推進室へ
電子メールにてお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整
させて頂くことがあります。調整を行う
場合は8月1日（水）までにご連絡します。

全学教育棟の場所はホームページにてご確認ください。教室は当日の案内看板を確認してください。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

8月8日(水) 1時限 10:20～11:50

日比 泰造 大学院生命科学研究部(臨床系) 教授

テーマ：命と対峙する外科医

内 容：生きることすなわち死ぬこと。死は生きとし生けるものすべてに平等に訪れ、かつすべての個体が死に至るまでそれぞれ固有の時間を過ごす。外科医として患者と向き合うとはどういうことなのか。手術を通じて何を成し遂げようとしているのか。

講師紹介：1998年に慶應義塾大学医学部を卒業後、横須賀米海軍病院、慶應義塾大学病院などでの研修を経て、難治がんが多い肝胆膵領域の外科を専門とすべく国立がんセンター中央病院に学んだ。その後、慶應義塾大学で生体肝移植、世界屈指の移植施設である米国マイアミ大学で脳死肝・腎・膵・小腸・多臓器移植を学び、2012年に日本に帰国。他の病院で手術不能とされたがん患者に対する手術などを手がけるほか、様々な国際プロジェクトに参加してきた。

関連教科・キーワード：外科医、死生観、がん、臓器移植、日本、世界

2

8月8日(水) 2時限 12:50～14:20

安村 明 大学院人文社会科学研究部(文学系) 准教授

テーマ：脳のふしぎに迫る ～こころの可視化～

内 容：人間と動物の違いって何でしょう。会話ができること？文字を自由に読み書きできること？高度な文明を築けること？それらの特徴は、全て脳が関係しています。このふしぎなヒトを人たらしめている脳について、身近なトピックをとりあげ、分かりやすくお話しします。とくに、実験によって心のメカニズムを知ろうとする基礎心理学から、病気の原因や病態の解明などを目的とした臨床研究まで、これまでの知見を基に幅広く紹介します。

講師紹介：山口県出身。東京大学大学院で博士(学術)の学位を取得。専門は認知神経科学。主に小児期の脳の発達に関する研究を行っています。都内近郊に15年ほど住み、本年度より熊本大学に参りました。2児の父で子育て奮闘中です。

関連教科・キーワード：生物、化学、統計、心理学、脳、発達、障害

3

8月8日（水） 3時限 14：30～16：00

首藤 剛 大学院生命科学研究部（薬学系） 准教授

テーマ：薬を知ろう！～セルフメディケーションから薬学研究まで～

内 容：薬学は、化学系・生物系・物理系・医療系など幅広い専門を基盤とした総合生命科学です。従って、薬学生は、「薬」に関してのみならず、生命現象・医療など全てを学ぶことが出来ます。その気になれば、ノーベル賞を取る研究だってできる学問なのです！本講義では、自分の責任で一般に売られている大衆薬をつかって治療する「セルフメディケーション」と、万人の健康と幸せを守るために行われている「薬学研究」に焦点をあてて、わかりやすくお話しします。

講師紹介：大分県出身。当初は薬剤師を目指して熊大薬学部に入學したが、大学院博士前期（修士）課程在籍中に、人生を左右する異例の海外留学を経験。帰国後、熊本大学で助手に着任し、薬学博士号を取得後、現在、准教授。熊本大学では、薬学研究に従事しつつ、学生や一般の方々に対して、免疫学・薬学英语・熊大公開講座「薬を知ろう！」シリーズの講師など幅広く講義や実習を担当しています。

関連教科・キーワード： 化学、生物、物理、英語、薬学

4

8月9日（木） 1時限 10：20～11：50

畑 裕之 大学院生命科学研究部（保健学系） 教授

テーマ：診察室でビックリ、実験室でワクワク

内 容：患者さんのがん細胞を減らすのが私の仕事です。そのために抗がん剤を使います。しかし、抗がん剤以外にもがん細胞を減らせる薬はありそうです。

診察室で実際に経験したそのような事例を実験室で検証する作業を皆さんに紹介し、科学と医療の奥深さをお話ししたいと思います。

講師紹介：本学医学部医学科を35年前に卒業して、血液細胞のがん治療の研究を行ってきました。抗がん剤がなぜ効くのか、なぜ効く人と効かない人がいるのかなど、なぜなぜと考えながら生きてきましたが、何も解決できないまま定年が近くなりました。しかし、なぜと考えるのは楽しいことだと未だに感じています。最近では、人はなぜがんになるのか、がんとは人間にとって何かを考えています。

関連教科・キーワード： 生物、化学

5

8月9日(木) 2時限 12:50～14:20

長谷川 麻子 大学院先端科学研究部(工学系) 准教授

テーマ：みんなの健康を守る室内環境づくり

内 容： みなさんは、1日24時間のうち何時間くらい建物の中にいるでしょうか？

また、人間が活着ている間に身体の中にとりこむものとして、どんなものがあり、それぞれどのくらいの割合を占めているのでしょうか？

この講義では、担当講師が高校時代から今まで、たびたび心折れながらも立ち直ってきたエピソードに、「健康を守る室内環境づくり」を実現するための知識をちりばめてお話しします。

講師紹介：宮城県仙台市出身。千葉工業大学建築学科卒業後、初めての女性エンジニアとして新日本空調(株)に勤務。その間にどうしても「室内空気の汚染と対策」に関する研究がしたくなり、ハードな仕事のかたわら受験勉強をして古巣の千葉工業大学大学院に合格、会社は退職。のちに東京大学大学院で博士号を取得し、現職にいたる。

関連教科・キーワード：地学以外の理科全般、保健、数学

6

8月9日(木) 3時限 14:30～16:00

田代 浩徳 大学院生命科学研究部(保健学系) 教授

テーマ：「がん」って遠い将来の病気？

内 容： がんで亡くなる人が多いことはみなさんご存じかと思ひます。でも、がんは大人になっておきる病気だから、みなさんのような若い世代には関係ないと思ひているのではないのでしょうか？実は、若くしておきるがんがあります。女性の子宮頸がんという病気はそのひとつです。この病気になると、子宮を失ひ、将来、子どもができなくなるばかりか、自分の命も落としてしまうことになひります。男性もこの病気に深く関わっています。どうして若くしてこのがんになるのか、どうしたら予防できるのか、一緒に考えてみまひよう。

講師紹介：私は保健学科で看護教育を担当していますが、子宮頸がんなどを扱う婦人科腫瘍専門医でもあります。熊本大学では、医学部や薬学部の学部生や大学院生が中心となるK発プロジェクトというボランティア団体があり、子宮頸がんの予防啓発活動を展開しています。私どもはこの活動を支援しています。

関連教科・キーワード：保健、生物

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 大津高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《平成30年度サテライトプログラム》

9月1日 (土)

開催場所：熊本県立大津高等学校
会議室・視聴覚室

13:30 - 15:00

「法学耳学問～マナーとルールから学ぶ～」

岡本 洋一 大学院人文社会科学研究部（法学系） 准教授

なぜ人は災害に上手く対応できないのか？

藤見 俊夫 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、8月22日（水）までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月1日（土） 13:30-15:00

岡本 洋一 大学院人文社会科学研究部（法学系） 准教授

テーマ：「法学耳学問～マナーとルールから学ぶ～」

内 容：憲法、法律そして条例、さらには校則まで、わたしたちの生活には多くのルールが存在しています。普段はあまり意識する場面がありませんが、トラブル（法学的には「紛争」と言います。）が起こると、法などのルールが登場します。法学部では、これらのルールのパターン（法則性・規則性）を学びます。今回は、高校生の皆さんにも身近な例を用いて、ルールの仕組みや、マナーとのちがいを説明したいと思います。

講師紹介：皆さん、こんにちは。熊本大学に着任して4年目になりました。大学で教え始めて15年になります。刑法を研究し、教えています。詳しいプロフィールは、「岡本洋一 刑法」か「岡本洋一 オーバードクター12年」でだいたい分かります。教育理念は、「自分で考える人を育てる」、好きな言葉は、「習慣は才能に優る」、「日々の努力が明日を創る」です。どうぞよろしくお願いします。

関連教科・キーワード：社会科、法学、法律学、刑法

2

9月1日（土） 13:30-15:00

藤見 俊夫 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授

テーマ：なぜ人は災害に上手く対応できないのか？

内 容：災害リスクという不確実なものに対して、どのように意思決定をするかというのは難しい問題です。災害はめったに起こらないので、最善の意思決定を行うのが難しいのです。実際に失敗しがちな行動や意思決定のパターンを検証して、その中の誤りを見出しながら、よりよい意思決定を促すためには、何に注意すればよいのか、どういう工夫をすればよいのかについて説明します。

講師紹介：防災や減災における人の行動について、経済学や心理学を融合した行動経済学の観点から研究しています。私は基本、面倒くさがりです。そんな私でも、防災・減災の取組みが「いつのまにか」できているような社会的な仕組みを考えています。

関連教科・キーワード：数学、生物、政治・経済

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 人吉高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《平成30年度サテライトプログラム》

9月29日 (土)

開催場所：熊本県立人吉高等学校
大会議室・視聴覚教室

13:30 - 15:00

超伝導でみえる量子の世界 —低温での物理学—

市川 聡夫 理学部 教授

犯罪から身を守るための地域づくりを考える

中迫 由実 教育学部 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、9月19日(水)までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月29日（土） 13:30-15:00

市川 聡夫 理学部 教授

テーマ： 超伝導でみえる量子の世界 ―低温での物理学―

内 容：「超伝導」という言葉で何をイメージされるでしょうか。電気抵抗ゼロやリニアモーターカーでしょうか。物理学的には「マクロな量子現象」という点でも重要な現象です。原子などのミクロな世界で起きている摩訶不思議な現象（「とびとび」の値だけをとる「量子の世界」）を私たちが認識できるマクロなスケールでも観察できるのです。講義では「温度とは何か？」から始めて、低温における物理現象と一緒に、これらの現象を考えます。

講師紹介：「電気抵抗がゼロになる！」最初の超伝導との出会いは、高校生の時に見たテレビの科学番組でした。「永久機関が作れてしまうのでは？」と信じられませんでした。それと同時にもっと知りたいと思うようになりました。そこで、理学部へ進学し、超伝導の研究室を選んでから、そのままずっと超伝導の世界に引き込まれたままです。

関連教科・キーワード：物理、化学（電磁気学、熱力学、原子、電子）

2

9月29日（土） 13:30-15:00

中迫 由実 教育学部 准教授

テーマ：犯罪から身を守るための地域づくりを考える

内 容：みなさんにとって、安全で、安心して住める住環境とはどのようなものでしょうか。犯罪から自分や住まいを守るためにはどうすればいいでしょうか。犯罪者を厳しく処罰すれば犯罪は少なくなるのでしょうか。犯罪が起こる環境には特徴があります。今日は、犯罪が起こりやすい環境の特徴を紹介するとともに、犯罪を防ぐための物理的な環境のデザインと地域住民の活動などについて考えていきます。

講師紹介：熊本大学に赴任して5年が経ちました。近畿圏を出て生活するのは初めてで食文化など違いも多くまだまだ発見があります。教育学部で家庭科教員を目指す学生を養成しています。家庭科といえば調理実習や裁縫のイメージが先行しますが、安全な住まいについて考える機会が増えており住居領域の存在感をアピールしていきたいです。

関連教科・キーワード：家庭科、現代社会、防犯まちづくり

高校生のための 熊大

ワクワク連続講義 鹿本高校

みなさんの学校で熊本大学を代表する研究者が講義をします!

《平成30年度サテライトプログラム》

10月20日(土)

開催場所：熊本県立鹿本高等学校 セミナーハウス会議室

1限 9:00-10:30	法（律）を学ぶこと、法学部で学ぶことの意味合い 中内 哲 法学部 教授
2限 10:45-12:15	遺伝性難病の克服を目指す薬学の挑戦 ～基礎研究と臨床研究の融合～ 石塚 洋一 薬学部 准教授

高校の先生方へ：所定の様式により進路指導室でお取りまとめのうえ、10月10日（水）までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

10月20日（土） 9:00-10:30

中内 哲 法学部 教授

テーマ：法（律）を学ぶこと、法学部で学ぶことの意味合い

内 容：法（律）学は、経済学や経営学・商学等と合わせて「社会科学」と呼ばれる学問領域を形成しています。「文系」で進学を考える際、文学部や教育学部等の「人文科学」か「社会科学」かは選択できても、いざ「社会科学」の中で、どの学部・学問を専攻するかは難しい・迷うと聞きます。この講義は、そうした悩みを少しでも和らげるような情報提供を目指します。

講師紹介：父の転職・転勤に伴い、広島県尾道市で生まれ、九州各地の小学校を移動、中学・高校・大学は阪神地区で過ごし、現在は福岡で暮らすジブシーです。学問の専攻という面でも、今は「労働法学」を担当していますが、法学部入学時（約31年前）は、「政治」を勉強したかったという変わり種です。進路に迷う・悩む時、そこを抜け出すヒントを提供できるかもしれません。

関連教科・キーワード：公民、現代社会、政治経済、三権分立、正義

2

10月20日（土） 10:45-12:15

石塚 洋一 薬学部 准教授

テーマ：遺伝性難病の克服を目指す薬学の挑戦

～基礎研究と臨床研究の融合～

内 容：ニーマンピック病C型という遺伝性難病をご存じでしょうか？脳が消えてなくなっていく病気と形容され、苦しんでいる患者さんが日本に約20人いらっしゃいます。私は、薬学で学んだ化学・生物・物理・医療など幅広い専門知識を駆使して、この病気に対する薬の開発に携わっています。薬学・薬剤師だからこそ出来る研究について紹介しながら、薬学の現在と未来について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講師紹介：鹿児島県霧島市出身。大学卒業・薬剤師免許取得後、医療薬学専攻の大学院に進学し、基礎研究と臨床研究の両方を学びました。博士（臨床薬学）の学位を取得し、大学病院の薬剤師として医療現場を経験した後、熊本大学薬学部助手、助教、講師を経て、現在、准教授。薬剤師としてのマインドを忘れず、教育・研究に邁進しています。

関連教科・キーワード：化学、生物、物理、英語、保健

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

＝平成30年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》玉名市文化センター

《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
10/27 (土)	1限目 (9:30-11:00)	1	アニメツーリズムと妖怪文化 ー人吉球磨・「夏目友人帳」の世界ー	3階 大研修室
			鈴木 寛之 文学部 准教授	
	2限目 (11:20-12:50)	2	不思議な水と炭酸の話	3階 大研修室
			キタイン アルマント ティエギン グローバル教育カレッジ 教授	

担当の先生方へ

《参加申込》各学校毎に、所定の様式によりお取りまとめのうえ、**10月17日(水)**までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。

【参加申込書様式】熊本大学のウェブページ(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>)で



トップページ → 「入試案内」 →
高大連携 内の「高校生のための熊大
ワクワク連続講義」をクリック。
関係ページから、「参加申込書.xlsx」を
ダウンロードしてください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**10月19日(金)**までにご連絡します。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

10月27日(土) 1時限 9:30～11:00

鈴木 寛之 文学部 准教授

テーマ：アニメツーリズムと妖怪文化

－人吉球磨・「夏目友人帳」の世界－

内 容：人気アニメ「夏目友人帳」のロケ地となり、内外を問わず大勢のファンたちが訪れる熊本県人吉球磨地域。日本各地でアニメファンによる“聖地巡礼”が話題になって久しいですが、人吉球磨では、喧騒とは無縁の静かなアニメツーリズムのかたちが展開しています。多くの妖怪伝承が残るこの地にファン達は何を求めて訪れ、その動きが、将来この地域に何をもたらそうとしているのか、一緒に考えてみましょう。

講師紹介：子どもの頃、水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」がきっかけで民俗学の世界に入りました。今回のテーマである「マンガと妖怪」は自分自身の原点です。いまは、マンガ文化を未来に伝える「合志マンガミュージアム」（2017年7月、熊本県合志市にオープン）を拠点に、マンガを活用したさまざまな地域振興活動にも取り組んでいます。

関連教科・キーワード：公民、妖怪、現代文化資源学

2

10月27日(土) 2時限 11:20～12:50

キタイン アルマンド ティビギン

グローバル教育カレッジ 教授

テーマ：不思議な水と炭酸の話

内 容：この講義では、水と二酸化炭素の驚くべき特性について話をして、天然物の抽出や有用な化学物質と燃料へのバイオマスの転換への応用など紹介します。

講師紹介：フィリピン出身で、22年以上日本に住んでいます。主にバイオマスを有用な化学物質や燃料に転換するためのグリーン技術の開発といった研究に取り組んでいます。熊本大学のグローバル教育カレッジでは、グローバル化のイニシアチブを支援しています。

関連教科・キーワード：化学、天然物、バイオマス、環境、グリーン溶媒、グローバル化

高校生のための 熊大 フクフク 連続講義

～ 平成30年度サテライトプログラム 実施状況 ～

1. 《開催場所》やつしろハーモニーホール 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
6/16 (土)	1限目 (10:30-12:00)	1	「人生の意味」について考えるーフランクルの思想をととしてー	3階 大会議室	175	159	112	44	1	2	91%
			今井 伸和 教育学部 准教授								
	2限目 (13:00-14:30)	2	才能から病気まで、遺伝する不思議トピはタカを生むのか？	3階 大会議室	139	134	110	20	2	2	96%
			中村 公俊 医学部医学科 教授								
(合計)					314	293	222	64	3	4	93%

※4名中2名は教員

※4名中2名は教員

2. 《開催場所》水俣高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳					参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明		
7/7(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	すべらないための“すべり学(Tribology)”	2階 大会議室	44	平成30年7月豪雨により、中止となりました。						
			中西 義孝 工学部 教授									
	2限目 (10:45-12:15)	2	会社という特殊なヒトと消費者という「弱者」一取引のBoth side now	2階 大会議室	45							
			若色 敦子 大学院法曹養成研究科 准教授									
(合計)					89	—	—	—	—	—	—	

平成30年7月豪雨により、中止となりました。

3. 《開催場所》天草高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/21 (土)	1限目 (同時開催) (13:30-15:00)	1	思考力・判断力の育て方ー森林環境教育を通してー	視聴覚教室	29	27	15	7	3	2	93%
			田口 浩継 教育学部 教授								
	1限目 (同時開催) (13:30-15:00)	2	生物をなぜ・どのように分けるのか。シダ植物を例にして。	2階 学習センター	33	38	21	15	0	2	115%
			高宮 正之 大学院先端科学研究部 (理学系) 教授								
(合計)					62	65	36	22	3	4	105%

※4名は教員

～ 平成30年度サテライトプログラム 実施状況 ～

4. 《開催場所》大津高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/1(土)	1限目〈同時開催〉 (13:30-15:00)	1	「法学耳学問～マナーとルールから学ぶ～」	2階大会議室	22	22	0	21	0	1	100%
			岡本 洋一 大学院人文社会科学研究部（法学系） 准教授								
	1限目〈同時開催〉 (13:30-15:00)	2	なぜ人は災害に上手く対応できないのか？ 藤見 俊夫 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	視聴覚室	33	24	1	22	0	1	73%
(合計)					55	46	1	43	0	2	84%

※2名は教員

5. 《開催場所》人吉高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/29(土)	1限目〈同時開催〉 (13:30-15:00)	1	超伝導でみえる量子の世界ー低温での物理学ー	視聴覚室	28	29	11	14	3	1	104%
			市川 聡夫 理学部 教授								
	1限目〈同時開催〉 (13:30-15:00)	2	犯罪から身を守るための地域づくりを考える 中迫 由実 教育学部 准教授	大会議室	47	46	14	22	9	1	98%
(合計)					75	75	25	36	12	2	100%

※2名は教員

6. 《開催場所》鹿本高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
10/20(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	法(律)を学ぶこと、法学部で学ぶことの意味合い	セミナーハウス会議室	80	75	75	0	0	0	94%
			中内 哲 法学部 教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	遺伝性難病の克服を目指す薬学の挑戦 ～基礎研究と臨床研究の融合～ 石塚洋一 薬学部 准教授	セミナーハウス会議室	67	63	62	0	0	1	94%
(合計)					147	138	137	0	0	1	94%

※1名は教員

7. 《開催場所》玉名市文化センター 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
10/27(土)	1限目 (9:30-11:00)	1	アニメツーリズムと妖怪文化ー人吉球磨・「夏目友人帳」の世界ー	3階大研修室	159	150	139	1	1	9	94%
			鈴木 寛之 文学部 准教授								
	2限目 (11:20-12:50)	2	不思議な水と炭酸の話 キタイン アルマンド ティビギン グローバル教育カレッジ 教授	3階大研修室	112	106	98	0	0	8	95%
(合計)					271	256	237	1	1	17	94%

※17名中5名は教員

サテライト プログラム	申込人数	参加者数	参加者内訳				参加率
			1年生	2年生	3年生	他・不明	
(総合計)	1013	873	658	166	19	30	86%

高校生のための 熊大 フ ク フ ク 連続講義

～ 平成30年度熊本大学夏季プログラム 実施状況 ～

《開催場所》熊本大学黒髪北キャンパス 全学教育棟 C101教室・C201教室・C301教室
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込人数	出席者数	参加者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
8/8 (水)	1限目 (10:20-11:50)	1	命と対峙する外科医	C301 教室	106	81	57	20	4	0	76%
			日比 泰造 大学院生命科学研究部（臨床系）教授								
	2限目 (12:50-14:20)	2	脳のふしぎに迫る～こころの可視化～	C301 教室	103	62	41	19	2	0	60%
			安村 明 大学院人文社会科学研究所（文学系）准教授								
	3限目 (14:30-16:00)	3	薬を知ろう！～セルフメディケーションから薬学研究まで～	C101 教室	87	69	45	19	5	0	79%
			首藤 剛 大学院生命科学研究部（薬学系）准教授								
8/9 (木)	1限目 (10:20-11:50)	1	診察室でビックリ、実験室でワクワク	C101 教室	80	62	28	31	2	1	78%
			畑 裕之 大学院生命科学研究部（保健学系）教授								
	2限目 (12:50-14:20)	2	みんなの健康を守る室内環境づくり	C201 教室	44	30	13	15	2	0	68%
			長谷川 麻子 大学院先端科学研究部（工学系）准教授								
	3限目 (14:30-16:00)	3	「がん」って遠い将来の病気？	C101 教室	50	41	17	24	0	0	82%
			田代 浩徳 大学院生命科学研究部（保健学系）教授								
（合 計）					470	345	201	128	15	1	73%

H30熊大ワクワク連続講義 八代サテライト 受講者アンケート

平成30年6月16日(土)

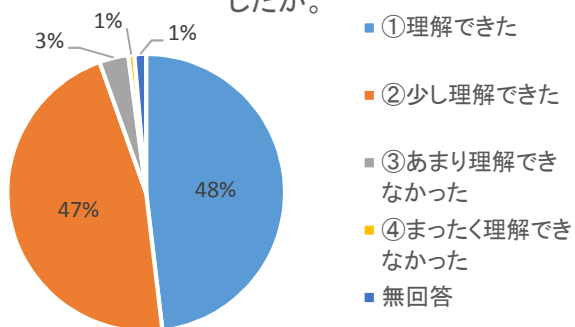
受講者数 293 名

学年	人数
1年	222
2年	64
3年	3
教員・不明	4
合計	293

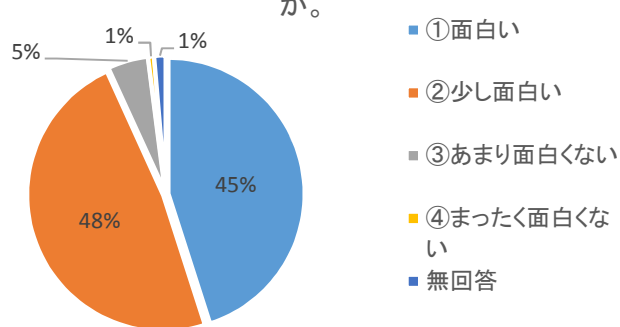
アンケート回答数 293 名

性別	人数
男	123
女	169
無回答	1
合計	293

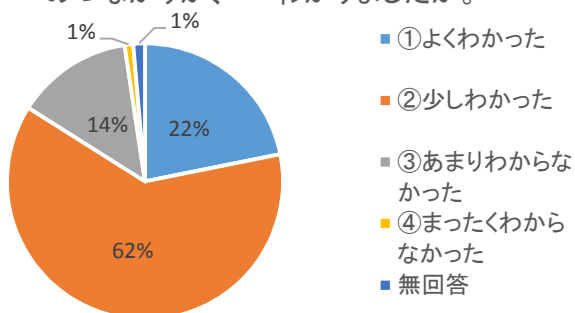
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



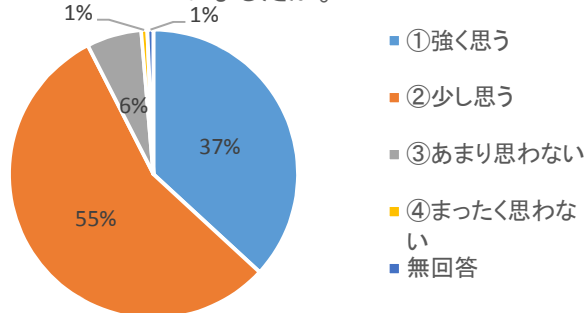
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 天草高校 受講者アンケート

平成30年7月21日(土)

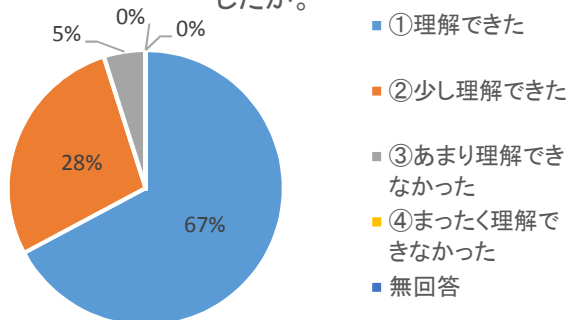
受講者数 65 名

アンケート回答数 61 名

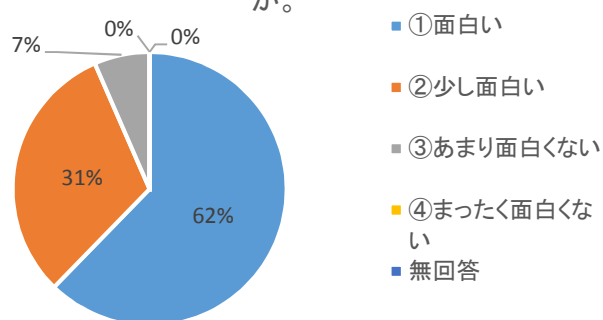
学年	人数
1年	36
2年	22
3年	3
教員・不明	4
合計	65

性別	人数
男	32
女	29
合計	61

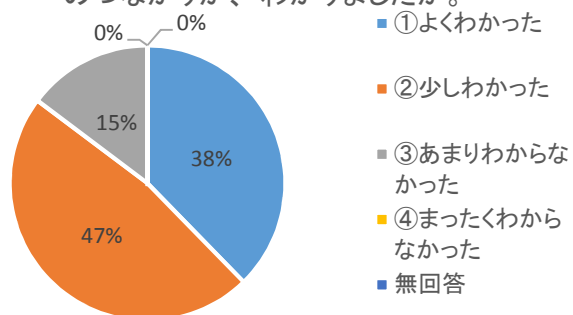
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



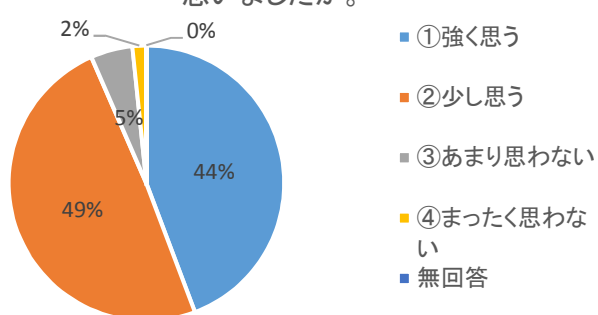
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 大津高校 受講者アンケート

平成30年9月1日(土)

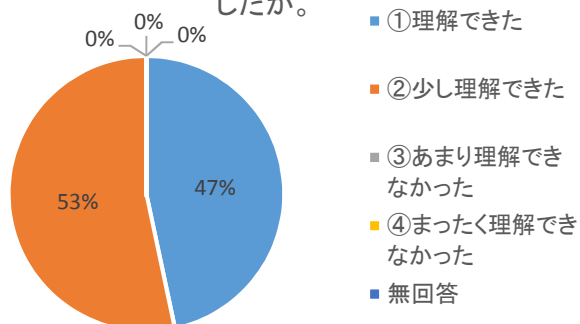
受講者数 46 名

アンケート回答数 45 名

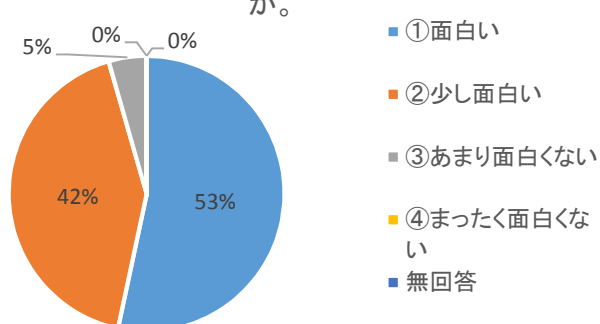
学年	人数
1年	1
2年	43
3年	0
教員・不明	2
合計	46

性別	人数
男	22
女	23
無回答	0
合計	45

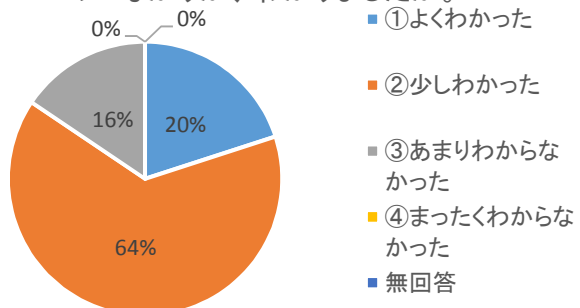
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



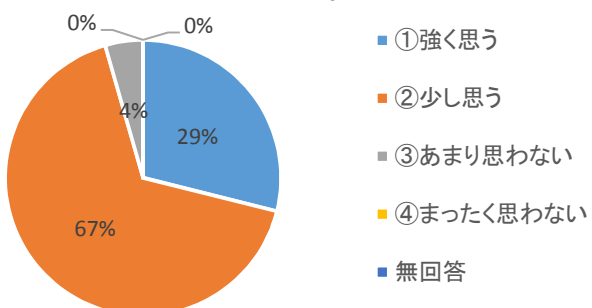
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 人吉高校 受講者アンケート

平成30年9月29日(土)

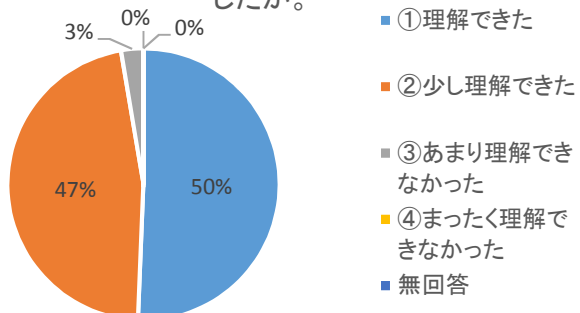
受講者数 75 名

アンケート回答数 75 名

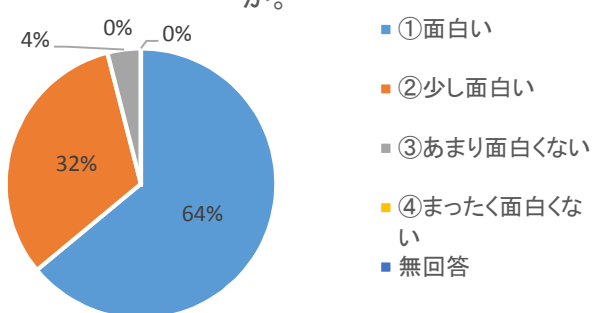
学年	人数
1年	25
2年	36
3年	12
教員・不明	2
合計	75

性別	人数
男	50
女	25
合計	75

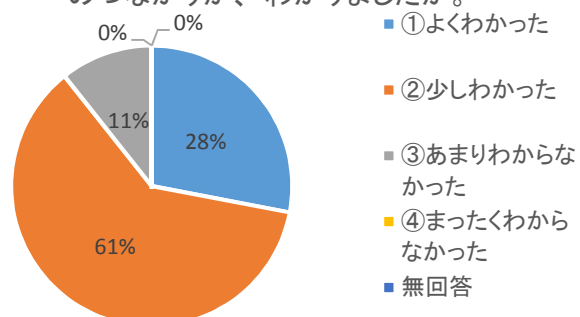
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



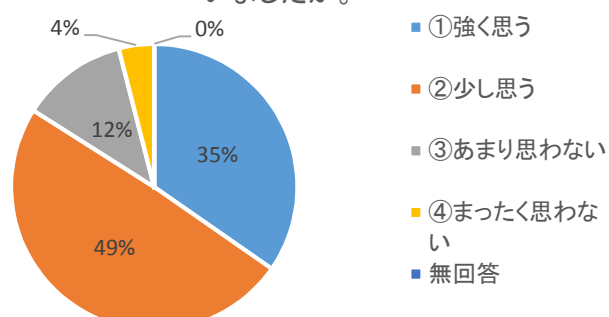
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 鹿本高校 受講者アンケート

平成30年10月20日(土)

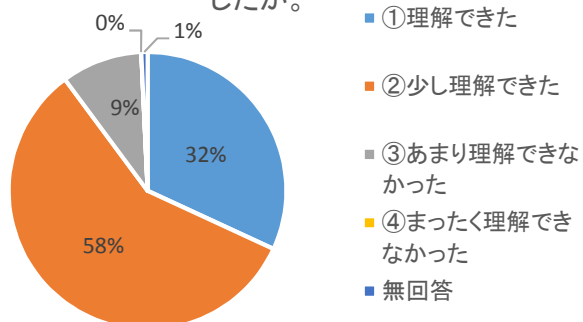
受講者数 138 名

アンケート回答数 138 名

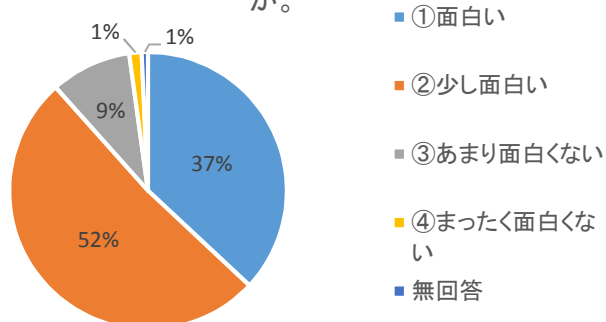
学年	人数
1年	137
2年	0
3年	0
教員・不明	1
合計	138

性別	人数
男	81
女	57
合計	138

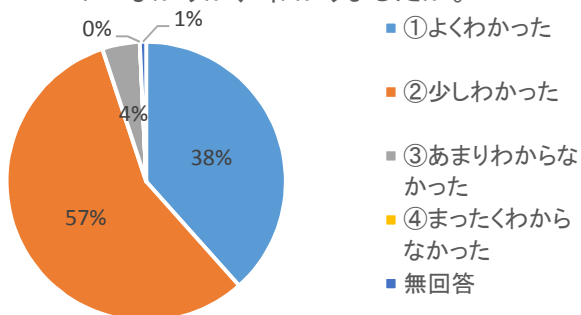
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



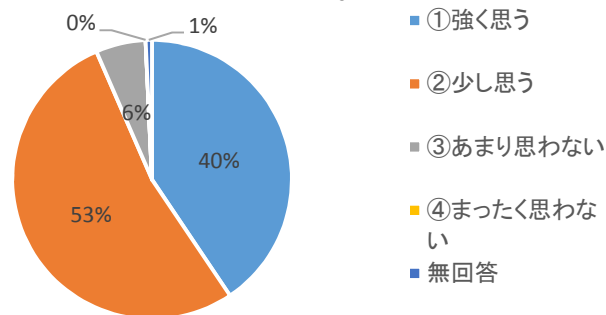
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 玉名サテライト 受講者アンケート

平成30年10月27日(土)

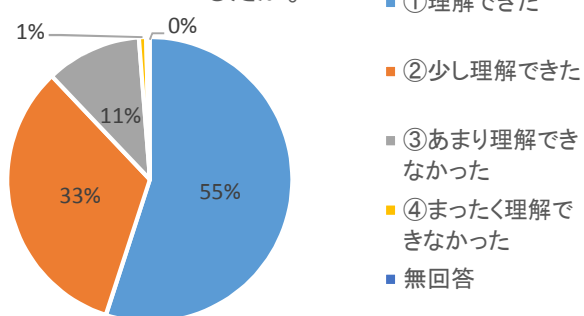
受講者数 256 名

アンケート回答数 240 名

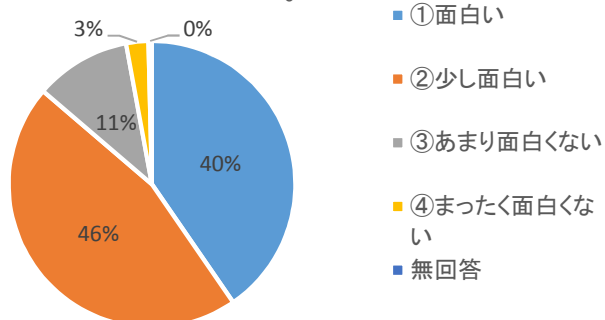
学年	人数
1年	237
2年	1
3年	1
教員・不明	17
合計	256

性別	人数
男	106
女	132
無回答	2
合計	240

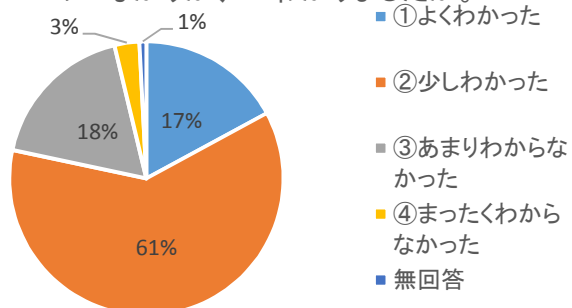
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



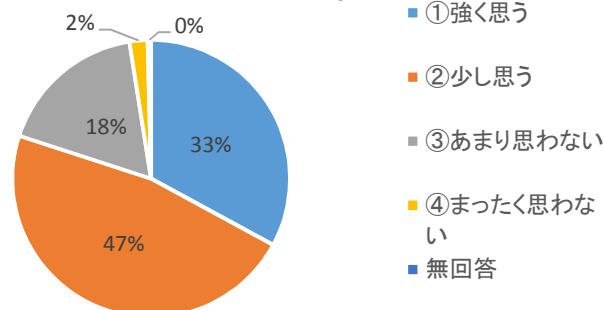
2)研究内容はおもしろそうと思いましたか。



3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりが、わかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



H30熊大ワクワク連続講義 夏季プログラム 受講者アンケート

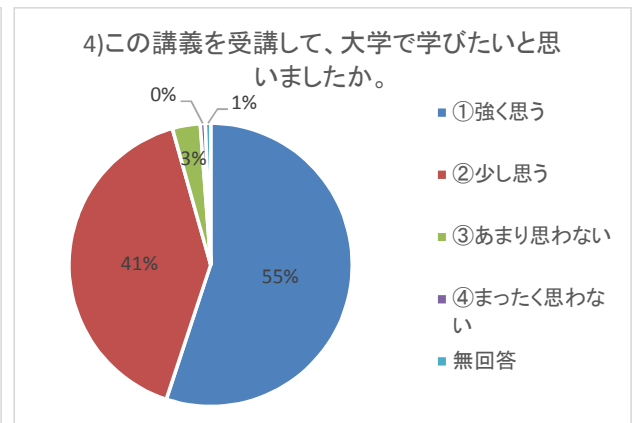
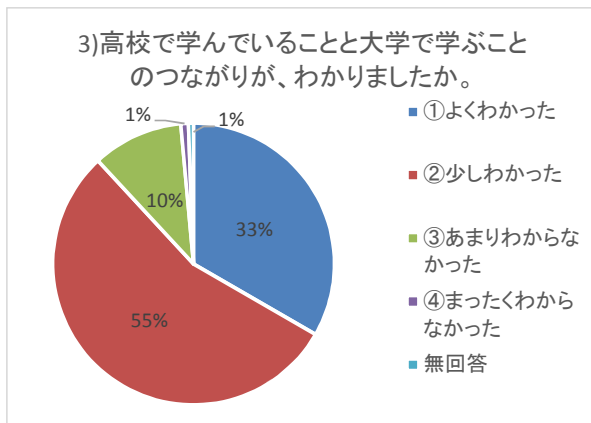
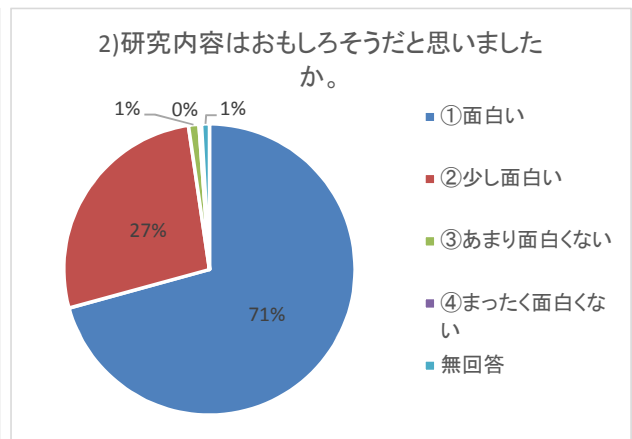
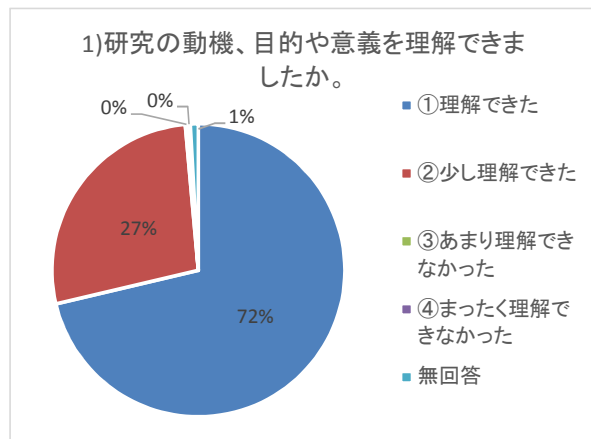
8月8日(水)・9日(木)

受講者数 345 名

アンケート回答数 345 名

学年	人数
1年	201
2年	128
3年	15
教員・不明	1
合計	345

性別	人数
男	87
女	258
合計	345



平成30年度熊大ワクワク連続講義 全受講者アンケート

受講者数 1218 名

アンケート回答数 1197 名

【全講座】

学年	人数
1年	859
2年	294
3年	34
その他	31
合計	1218

【全講座】

性別	人数
男	501
女	693
無回答	3
合計	1197

1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。

①理解できた	②少し理解できた	③あまり理解できなかった	④まったく理解できなかった	無回答
663	465	55	5	9

2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。

①面白い	②少し面白い	③あまり面白くない	④まったく面白くない	無回答
634	477	66	11	9

3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。

①よくわかった	②少しわかった	③あまりわからなかった	④まったくわからなかった	無回答
326	700	149	13	9

4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
499	586	93	13	6

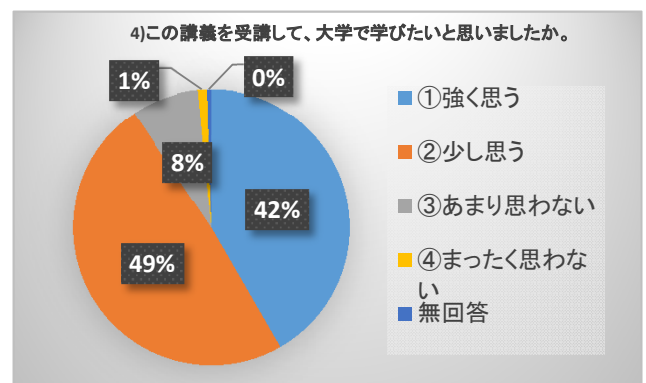
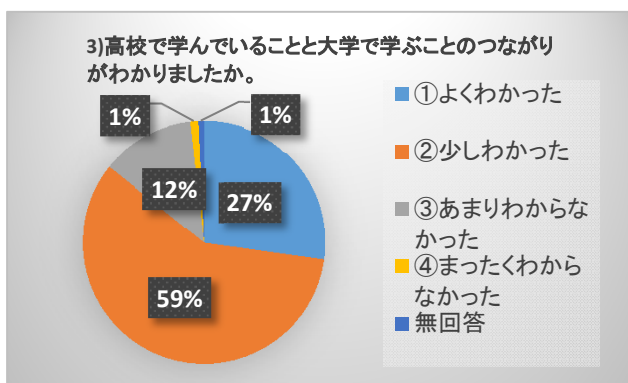
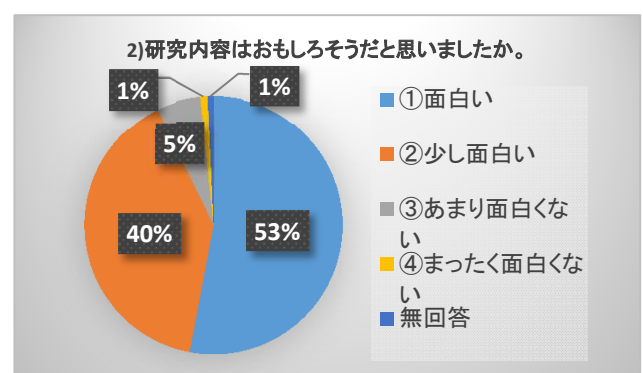
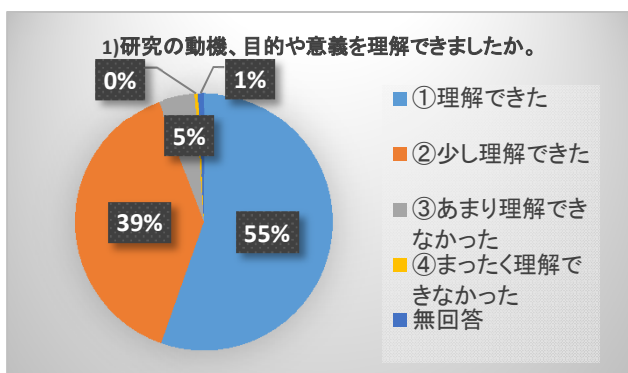
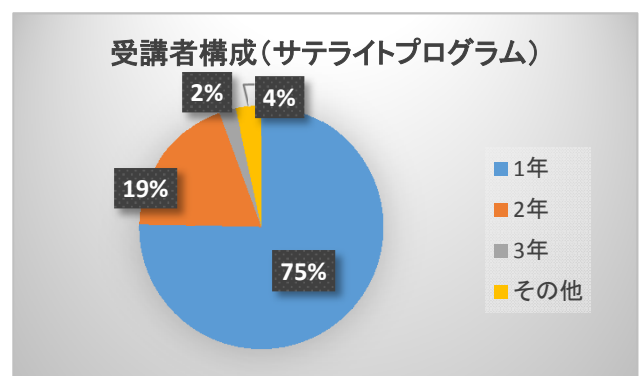
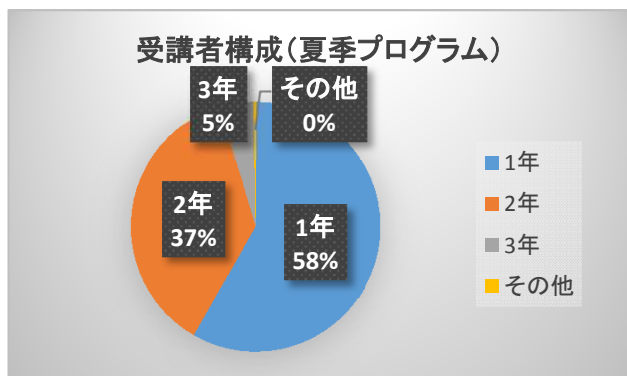
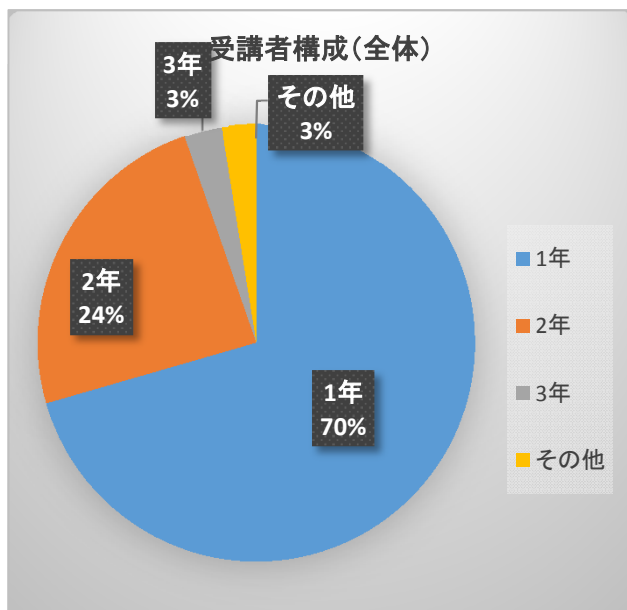
【夏季】

学年	人数
1年	201
2年	128
3年	15
その他	1
合計	345

【サテライト】

学年	人数
1年	658
2年	166
3年	19
その他	30
合計	873

※その他…教員及び学年不明の者



ワクワク連続講義風景



【八代サテライト】



【天草高校】



【大津高校】



【人吉高校】



【鹿本高校】



【玉名サテライト】



【夏季プログラム】



【夏季プログラム】

3. ワクワク研究室訪問

【ワクワク研究室訪問について】

高校生が興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いたり、部活動等で行っている研究について助言を求めるために、テーマと関係のある研究室を訪問するものです。

- (1) 1回の訪問で、1時間程度、1～3名程度を基本とします。訪問したい時期についていくつかの可能な時期、曜日、時間帯を書いて下さい。2回目以降の訪問については、訪問した研究室の教員との話し合いで決まります。なお、2回目以降もその都度、高大連携推進室へ申し込みが必要です。
- (2) 希望する学部（分野）、教員名（わからなければ空欄でよい）、これまで興味を持って取り組んだこと、訪問の目的を記入の上、高等学校の先生を通して高大連携推進室へ提出してください。研究室によっては受入が困難なところもあり、必ずしもご希望に添えないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 訪問後は毎回200字～300字程度のレポート提出を2週間以内に高大連携推進室へお願いします。
- (4) 実験を行う場合は、保険の加入をお願いいたします。また、実験の費用については、研究室の教員と高校との話し合いによって決めさせていただきます。

以上の件をご了解いただき、お申し込みくださいますようお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先

熊本大学高大連携推進室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL : 096-342-2712 FAX: 096-345-1954

E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ワクワク研究室訪問 訪問申込用紙

訪問希望者氏名	(学年：)
グループメンバー氏名 (同行予定者)	(学年：) (学年：)
希望学部名 (分野)	
希望教員名 (空欄可)	

《訪問したい時期について》

第一希望	第二希望	第三希望
時期：	時期：	時期：
時間帯：	時間帯：	時間帯：

これまで興味を持って取り組んできた学習や研究 (活動) 内容について

訪問の目的 (研究室にて指導をお願いしたいことはどんなことですか?)

高等学校指導教員記入欄 ※大学からは高等学校へ連絡をさせていただきます。

高等学校名：

指導教員名：

高等学校住所：

高等学校電話番号 (連絡先)：

FAX：

高等学校 E-mail：

送付先 E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）実施要領

1. 目的

高い学習意欲を持つ高校生が、興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、創造性や才能を伸ばすことができるように、本学の研究室を訪問し、高度な教育・研究に触れる機会を提供する。

2. 趣旨

- (1) 高校生が、興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いて、知的刺激を受ける。
- (2) 高校生が部活等で行っている研究について、テーマと関係がある研究室を訪問し、本学の教員に指導・助言を求める。

3. 実施方法

- 1) 高校生は、別紙申込用紙に希望する学部名（分野）、教員名（わからなければ空欄）、訪問の目的、訪問を希望する時期等を記載し、所属高校を通じて熊本大学高大連携推進室（以下「高大連携推進室」という。）に申し込む。
- 2) 高大連携推進室は、高校生が希望する研究室（教員）について、各学部の高大連携推進委員会委員等を通じて探し、該当する研究室に受諾の可否を照会する。
- 3) 研究室が高校生の訪問を受諾する場合、高大連携推進室は高校に回答するとともに、訪問時期の調整を行う。
- 4) 研究室訪問は、基本的に1～3名、月1回、1時間程度とする。高校生が2回目以降の訪問を希望し、教員が受諾する場合、その時期や回数等は教員の判断するところとする。受諾の可否について、教員は高大連携推進室に連絡する。なお、高校生は、2回目以降もその都度、別紙申込書を高大連携推進室に提出する。
- 5) 高校生に研究室での実験を許可する場合は、実験を開始する前に高校生に保険に加入してもらうので、教員は高大連携推進室に連絡する。実験の費用については、教員と高校との話し合いによって決める。
- 6) 高校生は、研究室訪問後毎回2週間以内にレポートを高大連携推進室に提出する。
- 7) 高校生を積極的に受け入れたい研究室においては、URL等で研究の内容を公開し、高大連携推進室に連絡する。

平成30年度ワクワク研究室訪問実施件数

	学 部	申込件数	実施件数
県内	文学部	2	2
	法学部	2	2
	教育学部	3	0
	工学部	1	1
	理学部	2	2
	医学部	4	4
	薬学部	1	1
県外		0	0
	合計	15	12

◎訪問者一覧

県内 (2校)	県外 (0校)
熊本信愛女学院高等学校 11件 35名 (2年生:女)	
熊本県立宇土高等学校 1件 3名 (2年生:女、教員1)	
合計 12件 38名	

【訪問者の感想（一部抜粋）】

- ・ 将来の目標について改めて考え直すきっかけとなった。
- ・ どんな看護師になりたい、〇〇の専門になりたい、などまだ具体的なことはわからない。
しかし、誰かに必要とされ、感謝されるような看護師になりたいと思う。
- ・ 今回の訪問で、研究者になりたいという気持ちが強くなりました。また、しっかり考え、日学習に取り組みたいです。
- ・ 薬学部は、薬剤師になるだけの学部ではなく、色々な薬中細胞の研究をする学部でもあると薬学の奥深さに気づきました。講義を聞き、たくさんの知識を得ることができて良かったです。
- ・ 講義中に初めて聞く言葉があったので、もっと化学や生物の勉強をしようと思いました。研究室見学をしたときに、大学生の実験している姿を見て、私も大学生活をこのようにおくりと思いました。
- ・ 奇数の完全数に関する素数について私たちでもわかる範囲で詳しく教えていただきましたとてもためになる話ばかりで楽しかったです。
- ・ オープンキャンパスなどでは聞くことができない学生の生の声を知ることができた。
- ・ 今回の研究室訪問で、経済のことを学べただけでなく、これから自分たちがどういったモチベーションで勉強し、社会に出ていくかを考え直すことができました。

4.平成30年度高大連携推進 関係主要行事一覧

平成30年度高大連携推進プロジェクト関係主要行事一覧

月	日	曜日	実 施 行 事	備 考
H30				
4			「ワクワク研究室訪問」 随時受付開始	
5	21	月	第1回高大連携推進委員会	全学委員会
6	16	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト八代	2コマ
7	7	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 水俣高校	2コマ
7	21	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 天草高校	2コマ
8	8 9	水 木	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 夏季プログラム	全2日間（6コマ）
9	1	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 大津高校	2コマ
9	3	月	第1回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
9	29	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 人吉高校	2コマ
10	20	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 鹿本高校	2コマ
10	27	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト玉名	2コマ
12	8	土	熊本県立熊本北高等学校SSH体験学習講座	90名
H31				
2	15	金	第2回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
3	14	木	第2回高大連携推進委員会	全学委員会

平成30年度
高校生のための熊大ワクワク事業の記録

平成31年3月

熊本大学高大連携推進室

電話 096-342-2712